KUTSUROGI－TIME

くつろぎタイム

休日の前日、心おきなくおいしいお酒を楽しむ。それが至福の時間です。

仙台商工会議所　1号議員
株式会社やまや
代表取締役社長

山内（やまうち） 英靖（ひでやす） 氏

1962年11月15日生まれ
塩竈市出身
血液型O型

仙台第二高等学校を卒業後、法政大学法学部に進学。1985年4月、㈱やまやに入社し、2号店の店長として社会人のスタートを切った。

初めはプレハブを建てては壊し、建てては壊しを繰り返す苦労を重ねたが、そのプレハブにテレックスやファクスを持ち込み、缶ビールやワイン、ウイスキーの輸入を開始した。

その後、徐々に輸入業務の比率が大きくなり、当時、塩釜にあった本社勤務となる。貿易部長や営業本部長などを歴任し、2006年より現職。グループ会社である、やまや関西㈱をはじめ、やまや東日本㈱、チムニー㈱の代表取締役も務める。

休日はどのようにお過ごしですか。

日ごろの疲れを癒やしたいという思いがあるので、基本的には家でゆっくりしていますが、最近は土日を休めるようになったため、家族からリクエストがあれば、昼食を食べに出かけることもあります。子どもは男の子3人で、1人は東京の大学に行っていますが、自宅には大学生と小学生の2人がおりますので、妻と4人ですしや焼き肉を食べに行くことが多いですね。テーブルを囲んで普段なかなかゆっくり話ができない分、他愛もない話をしながら一緒においしいものを味わうことが休日の楽しみになっています。

スキーがご趣味と伺いましたが。

今は年に1、2回ほどですが、スプリングバレーで滑っています。学生時代からの知り合いがいるので、一緒に滑るのが楽しみなんです。

スキーを始めたのは中学生のときで、大学生時代、宮城蔵王のスキー場にあるホテルで、スキー教室のインストラクターをした経験もあります。始めた当初は、冬になると毎週末、スキー板をかついで電車を乗り継ぎ、面白山まで出かけて行って夢中で滑っていました。当時は「面白山仮乗降場」という臨時駅でした。高校生になってからはスキー部に入り、競技スキーに没頭しましたね。

スキーの魅力は、どのような点にあるとお考えですか。

滑っているときは転ばないように、うまく滑ることだけを考えています。その一点に集中することがリフレッシュになりますので、それが一番の魅力だと考えています。それから、スキーで出会った仲間と、長いお付き合いが続いているのもうれしいですね。スプリングバレーの皆さんをはじめとして、いまでも、高校のスキー部の先輩とお会いする機会がありますが、場所はスキー場ではなく、もっぱらお酒の席です。スキーからウイスキーに変わりました（笑）。

体力維持のためのトレーニングが欠かせませんね。

トレーニングというほどのことではないのですが、近くのジムのプールで歩いたり、泳いだりして、少し体を動かしています。腰痛持ちなので、水の中なら腰への負担も軽減されるので良いと聞いたことが、水泳を始めるきっかけでした。毎日行きたいところなのですが、実際に行けるのは、会社帰りに週に3回くらいです。出張時にもランニングシューズとTシャツ、短パン、水着を一式持って行くようにしています。いずれにしても、プールにいる時間は15分くらいなんです。長く続けるこつは、あまり一生懸命にやらないことかもしれないですね。

お仕事柄、いろいろなお酒を飲まれるのでしょうね。

こだわりはなく何でも飲みます。お酒を取り扱う会社ということもあり、たまには珍しいお酒なども飲んだりしてみますが、一番多いのはビールや酎ハイでしょうか。たくさん飲み過ぎないように気をつけつつ、「明日は休みだ」という気分でお酒を飲むことができる休日の前の日や金曜日の夜に、心おきなくお酒を飲むのが私の楽しみの一つになっていますし、これが私の「くつろぎタイム」です。

いまよりも長い休暇が取れたら、どんなことがしたいですか。

スキーを楽しんだ後、温泉に入って、何をするともなくのんびりとくつろいで、お酒を飲んで良い気分で眠りにつく。そんな旅行がしたいですね。もちろんお酒は外せませんが（笑）。

最後に、お仕事の近況をお聞かせください。

良いご縁がありまして、広島、金沢、大阪などで、同業の酒販店の営業を引き継がせていただき、現在330ほどのグループ店舗となっています。また、2014年末にはチムニー㈱という会社に弊社のグループに入っていただきました。6次産業化にも積極的に取り組んでおり、店舗は約750店あります。それから、昨年12月からは、北海道発祥で、東京などのほか、海外でも店舗展開している㈱つぼ八が運営する飲食店チェーンのうち250店ほどが私どものグループとなりました。現在、全国で合わせて約1，000店の飲食店チェーンがやまやグループになっております。

お酒の世界で酒屋、居酒屋の両方を手がけておりますので、お客さまにお酒をよりおいしく、楽しく飲んでいただける情報を、いち早く提供していこうと思っています。いろいろなお酒の飲み方、楽しみ方というものは、居酒屋の方が先行しております。流行をできるだけ早くキャッチして、居酒屋で提供するのはもちろん、酒販店の方でも、それらのお酒を取り扱うようにするといった「いいとこ取り」をして、お客さまに喜んでいただこうと考えております。私どもは「お客さま第一」で成り立っている会社です。今後も、引き続きお客さまのお役に立てるよう、精進してまいりたいと思っています。

泉ヶ岳スキー場で滑走した際の1枚。ダウンヒル（滑降）の元プロスキーヤーと共に楽しむこともある。

より良い環境をめざす。

青葉環境保全 AOBA
〒984-0037 仙台市若林区蒲町19-1　TEL 022(286)3161(代)